

2. 事業内容

事業期間	令和	3	年	9	月	～	令和	3	年	11	月	
施工箇所	窓のみ											
実施事業	※複数の実施事業がある場合は全て選択して下さい											
	①	Low-Eガラス窓へ交換			②	選択して下さい			③	選択して下さい		
(その他の場合は下欄に記入して下さい)												
導入前の状況	竣工時から改修等の実績なし											
導入予定設備等	《導入予定設備》 ※複数の実施事業がある場合は全て記入して下さい											
		Low-Eガラス窓へ交換										
	メーカー	●●(株)										
	製品名	□□□□										
	色・種類	○○-▼▼										
	施行実施方法	既存窓から交換										
	<p>複数内容を入力する等、改行をする場合は「Alt」キーと「Enter」キーの同時押しにて実行できます！</p> <p>※スペースで無理矢理改行してしまうと、行ずれが発生してしまうためご注意ください。</p>											
	《施工面積や範囲について》 ※複数の実施事業がある場合は全て記入して下さい											
	事業内容:事務所の20箇所の既存窓を交換 [東面10枚(①) / 南面10枚(②)] 施工範囲:①(東)1.2m×0.7m×10枚=8.4㎡ ②(南)1.4×1.2×10枚=16.8㎡ 計25.2㎡											
	《適合基準の確認》 ※入力シートに記入する全ての数値について記入して下さい											
該当	規格	規格名、実証番号		区分		数値						
○	日本産業規格(JIS)	A4710		熱貫流率		2.3						
				日射熱取得率		0.58						
	環境省の環境技術実証事業(ETV)			選択して下さい								
	国立研究開発法人建築研究所			選択して下さい								
	一般社団法人建材試験センター			選択して下さい								
				選択して下さい								
資産台帳	法定耐用年数 (複数用途がある場合、施工別に記入する)						屋根				年	
	※償却資産台帳(固定資産台帳)に登録する年数を記入して下さい						外壁					
							窓	10				
	導入前		導入後		CO ₂ 排出削減予測量							
	0.7 t-CO ₂ /年		0.3 t-CO ₂ /年		0.3 t-CO ₂ /年							

※10年間。ただし法定耐用年数が10年未満のものはその法定耐用年数

財産処分制限期間※相当CO ₂ 排出削減量	4.0 t-CO ₂
----------------------------------	-----------------------

3. 資金計画

(1) 事業費内訳

(単位:円)

区分	設備費・材料費			工事費	合計	
	単価	数量	計			
補助対象経費	窓工事(東面)	30,000	10	300,000	300,000	600,000
	遮熱塗装(外壁)	30,000	10	300,000	300,000	600,000
	消耗品・雑材料費	15,000	1	15,000		15,000
	値引き計(A)	-35,000	1	-35,000		-35,000
			580,000	600,000	1,180,000	
補助対象外経費	防水工事			500,000		500,000
	既設設備撤去費			300,000		300,000
	既設設備処分費			100,000		100,000
	補修費			150,000		150,000
諸経費計			20,000		20,000	
			1,070,000		1,070,000	
小計	※ 見積書の合計額(税抜額)と一致させること				2,250,000	
消費税及び地方消費税額					225,000	
総事業費	※ 見積書の合計額(税込額)と一致すること				2,475,000	

(注) (1) 補助対象経費の区分欄は、導入事業ごとに記載し、その内訳が見積書で明確に確認できるようにすること。

(2) 「出精値引き」など、内訳が明確でない値引きについては、すべて対象経費から差し引くこと。

(2) 補助金申請額

① 上限額

3,000,000

② 補助対象経費の1/3

1,180,000 × 1/3 = 390,000

(A)



申請上限額

390,000

①、②の低い額

暑さ対策入力シート及び計算結果シート

セル内に
計算結果
※本シ

既存窓をLow-Eガラス窓へ交換する場合

I. 事業所概要

作成日 令和3年4月26日

1 対策事業所名 本社工場
事業実施場所 埼玉県 **さいたま市**2 既存空調設備の冷熱源のCOP(成績係数)
熱量効果計算における、既存冷熱源のCOP値は以下の一定値を使用する。
本ファイルの効果計算ではCOP値の変更はできない。
冷房用COP 3.55
暖房用COP 3.95赤い丸で囲った
部分が**入力箇所**3 当該施設の**操作・営業時間**
月の平均営業・操作日数 **20**日/月
一日の平均営業・操作時間 **8**h/日
月当たりの平均操作・営業時間 160 h/月

II. 施工内容

1 対策部位 (対策する工事をクリックし選択する。)
 屋根 外壁断熱 外壁遮熱 窓断熱 窓遮熱2 暑さ対策を行う屋根・外壁・窓ガラスの面積
暑さ対策を実施する屋根、外壁、窓の施工面積を記入する。施
方位については、図1、図2を参考にすること。

●Low-Eガラス窓へ交換⇒窓断熱と窓遮熱

をそれぞれ選択する。

表-2 各方位の対象面積

対策部位	方位	施工面積(m ²)
屋根	—	
	北	
外壁	北東	
	東	
	南東	
	南	
	南西	
	北	
窓ガラス	北東	8.4
	東	
	南東	
	南	16.8
	南西	
	西	
	北西	

対策箇所が外壁や窓の場合は、方角ごとに施工面積を入力

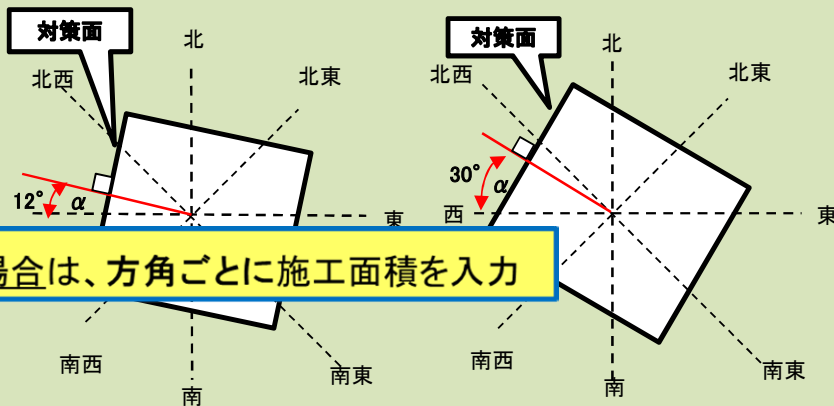


図1 方位の解釈の例1

図2 方位の解釈の例

対策する面の法線(面に対して90度の線)と方角の角度 α が22.5°より、小さい場合、この面の方角面(この場合は西向き)となる。
図2の場合は北西面となる。

Ⅲ. 対策後の熱性能(熱貫流率、日射熱吸収率、日射熱取得率)

1 屋根対策

①断熱

屋根について、対策を行わない場合は、数値を変更しないこと。対策を行う方位のみ、その数値に変更する。

表-3 暑さ対策による屋根の熱貫流率入力表

屋根の熱貫流率 W/(m²K) ★デフォルト値:3.91W/(m²K)

②遮熱塗装

屋根について、対策を行わない場合は、数値を変更しない。

表-4 暑さ対策による屋根の日射熱吸収率入力表

遮熱塗装の日射熱吸収率 ★デフォルト値:0.7

2 外壁対策

①断熱

外壁について、対策を行わない方位の数値は変更しないこと。対策を行う方位のみ、その数値に変更する。

表-5 暑さ対策による外壁の熱貫流率入力表

部位	方位	熱貫流率	
外壁	北	<input type="text" value="1.18"/> W/(m ² K)	★デフォルト値:1.18W/(m ² K)
	北東	<input type="text" value="1.18"/> W/(m ² K)	
	東	<input type="text" value="1.18"/> W/(m ² K)	
	南東	<input type="text" value="1.18"/> W/(m ² K)	
	南	<input type="text" value="1.18"/> W/(m ² K)	
	南西	<input type="text" value="1.18"/> W/(m ² K)	
	西	<input type="text" value="1.18"/> W/(m ² K)	
	北西	<input type="text" value="1.18"/> W/(m ² K)	

②遮熱塗装

外壁について、対策を行わない方位の数値は変更しないこと。対策を行う方位のみ、その数値に変更する。

表-6 暑さ対策による外壁の日射熱吸収率入力表

部位	方位	日射熱吸収率	
外壁	北	<input type="text" value="0.7"/>	★デフォルト値:0.7
	北東	<input type="text" value="0.7"/>	
	東	<input type="text" value="0.7"/>	
	南東	<input type="text" value="0.7"/>	
	南	<input type="text" value="0.7"/>	
	南西	<input type="text" value="0.7"/>	
	西	<input type="text" value="0.7"/>	
	北西	<input type="text" value="0.7"/>	

3 窓対策

窓対策による熱貫流率と日射熱取得率

施工面積を入力した方角ごとに、設備の遮熱性能を選択

表-7 暑さ対策による窓の熱貫流率と日射熱取得率*の選定表

デフォルト値	5.95 W/(m ² K)	0.876
単層高性能熱線反射相当	5.61 W/(m ² K)	0.490
複層(空気層6mm)Low-E(遮蔽)6t+透明6t相当	2.50 W/(m ² K)	0.415
複層(空気層12mm)Low-E(遮蔽)6t+透明6t相当	1.69 W/(m ² K)	0.408
上記以外(JISで示された熱貫流率)	<input type="text" value="2.3"/> W/(m ² K)	<input type="text" value="0.58"/>

※左:熱貫流率 / 右:日射熱取得率

窓ガラスについて、対策を行わない方位の数値はデフォルト値のままとする。

対策を行う方位のみ、プルダウンリストから選択する。

表-8 暑さ対策による窓の熱貫流率と日射熱取得率の入力表

★デフォルト値:

部位	方位	窓対策の内容	熱貫流率	日射熱取得率	熱貫流率	日射熱取得率
窓ガラス	北	デフォルト値	5.95	0.876	5.95W/(m ² K)	0.876
	北東	デフォルト値	5.95	0.876		
	東	上記以外(JISで示された熱貫流率)	2.3	0.58		
	南東	デフォルト値	5.95	0.876		
	南	上記以外(JISで示された熱貫流率)	2.3	0.58		
	南西	デフォルト値	5.95	0.876		
	西	デフォルト値	5.95	0.876		
	北西	デフォルト値	5.95	0.876		